

setoyaki style book

セトリエ

瀬戸からはじまるやきもの新生活。

SETO YAKI MONO

セトリエ 第七号

発行 / 濑戸焼振興協会 〒489-8701 愛知県瀬戸市追分町 64-1 TEL : 0561-88-2651

E-mail:kogyoshinko@city.seto.lg.jp Web:<http://www.setoyakishinkokyokai.jp>

企画・編集 / 日笠 真理・岩田 舞海 || 写真 / カメイヒロカタ || 意匠 / studio05 || 印刷 / 株式会社 脇デザイン事務所

2015.8

w e l c o m e

t o

S E T O

Y A K I : つくる

×

つかう：M O N O

セトノベルティの花嫁

瀬戸の地から、かつて世界中に輸出された陶磁製人形や置物等の「セトノベルティ」。精巧な細工を可能にしたのは、瀬戸産の良質な木節粘土と型づくりや焼成等の職人の高い技術があったからこそ。髪や指先の細部まですべてやきもの、なかでもレースを使った繊細な美しさを生み出す技術は、「秘伝」とも言われてきました。綿レースに泥状の陶土を手で均一に染みこませたものを、人形に着せて焼成すると、綿の部分だけが燃え尽き、本物のレースのような細やかな質感が残ります。この「陶製レース」は、極めて丹念な職人の手による仕事で、その技術はまさしく「メイドイン瀬戸」の真骨頂といえます。近年はこれまで培ってきた技術を活かし、金襷緞子の帯をレースで再現した花嫁人形も登場。新たな価値を纏ったセトノベルティが、瀬戸から全国へ、世界へと嫁ぐ晴れの日に夢が広がります。



撮影協力：
テーラー名古屋人形製陶株式会社



「たら」でつくる
やきものづくりの成形方法に、
板状の粘土から作る「たら」がある。
生地の左右にたら板を重ね置き、
しつびき（切り糸）を引きながら、
粘土板を均等に切り出していく。
円みをつけたり縁を切り取ったり、
ろくろではできない形を作り出す。
足を付けるも絵付けをするもよし。
型おこし・手おこし・貼り合わせと、
シンプルなだけに創造の懐も深く、
自由自在に表現できるから面白い。●

「たら」でつくる
やきものづくりの成形方法に、
板状の粘土から作る「たら」がある。
生地の左右にたら板を重ね置き、
しつびき（切り糸）を引きながら、
粘土板を均等に切り出していく。
円みをつけたり縁を切り取ったり、
ろくろではできない形を作り出す。
足を付けるも絵付けをするもよし。
型おこし・手おこし・貼り合わせと、
シンプルなだけに創造の懐も深く、
自由自在に表現できるから面白い。●



「黄瀬戸 割山椒向付」「岩月竹光陶房」岩月竹光さん／「ちりめん山椒」「日本料理 大竹」大竹竜平さん



滋味きわだつ釉肌

黄瀬戸と和食

茶陶から和食の彩りへ。
織部、志野と並ぶ桃山陶の代表格「黄瀬戸(きせと)」。向付(むこうづけ)や八寸など、懐石料理などを彩る器としてもなじみ深い。華茶道が発達した桃山時代(十六世紀)、東濃地方を中心に作られ江戸時代に入ると瀬戸でも作られるようになる。枯淡な侘び寂びを湛えながら、ほの暗い灯りのものとでも光明の趣きがあり、かの太閤秀吉は金に見立てて好んだという。

つやのないしっとりとした渋みのある釉肌の黄瀬戸は、「油揚げ手(あぶらげで)」と呼ばれ、その色、風合いは再現するのが難しいとされている。釉薬に含まれる鉄分が発色した淡黄色とタンパン(硫酸銅による緑)を施した併まいは、つくり手によってまさに十人十色。その様が古の茶人に好まれ、時を超えたおやきものファンや料理人を魅了し続ける所以でもある。

理想の黄瀬戸を求めて 「こだわる」楽しみ。

瀬戸はもとより、黄瀬戸のつくり手として全国的にも広く知られる岩月竹光さん。赤津地区の窯元で修業を重ね、三十五年ほど前に独立して「岩月竹光陶房」を開窯した。岩月さんが理想の黄瀬戸と出会ったのは、ある展覧会で桃山の「黄瀬戸花文輪花鉢」を観た時。「これだ!」と感銘を受け、以来、瀬戸や美濃の山に土を探し求め、自ら釉薬を調合、焼成も試行錯誤をくり返してきた。

「いつかは桃山の黄瀬戸を超える」

理想的の黄瀬戸は、落ち着いた深みのある色で、いかにもというから自然に出てきたままのよくな風合い。タンバンは筆で打つたため、ふわっとかるやかに緑がかった感じに仕上がるよう、細心の注意を払う。古陶の源流を追い求めつつも、めざすところは

たい、その一心だわね。瀬戸で採れる蛙目(がいろめ)粘土で濃い土を混ぜたり、灰は何度も洗って濾し、灰汁を取り、釉薬だけでも五種類ほど調合するんです」

土、長石、灰の組み合わせの妙が、めざす黄瀬戸に近づくまで、岩月さんの探求は尽きない。

「納得のいく黄瀬戸に仕上がるかは、何年やつても難しい。特に窯の温度は、気候や窯入れした器の数によっても変わるのでね。窯おこしの朝は早くから目が覚めてしまつて……いまだに窯の蓋を開ける時は毎度拌んじやいますね(笑)」。

瀬戸にしかないもの、自分にしかつくれないもの。「お客様に一目で岩月さんの器だ!」とわかつてもらえることが何よりも嬉しいね」と、目を細める。

食を通じて出会う、瀬戸焼の魅力。

山椒の実が三つに裂けた形の「割山椒向付」は、和え物によく使われる和食ではおなじみの器。「日本料理 大竹」のちりめん山椒のおろし合えを盛り付け調和した。

「瀬戸で生まれ育ったので、幼少から陶芸家の方は身近な存在でした。この店と料理を通して瀬戸の魅力をもっと伝えられたたらと思い、器や照明に

瀬戸焼の作品を使っています」と店主・大竹竜平さん。日本料理のおもてなしを通して瀬戸焼と出会う、新たな交流サ

日本料理 大竹
店主 大竹竜平さん

愛知県瀬戸市水北町 271
TEL: 0561-48-3351
<http://otake.yano.ne.jp>

岩月竹光陶房

愛知県瀬戸市品野町 7-201
TEL: 0561-41-2794
※ギャラリー併設



菓器と あらかる



決まった使い方にとらわれず、お菓子だからこそできる「器あそび」があります。大皿は余白をたっぷりとることでおもてなし感がアップ。蓋物に金平糖を、盃は銘々皿にと、ふだんとは違う器の組み合わせを楽しめるのも、お菓子ならでは。白磁や青磁は、夏は涼を呼び込み、冬は温とした華やぎを添えてくれます。

— 器の案内人 日笠真理一

- 文藤窯（青白磁波彫角八寸皿）
- スタジオK2（蓋付ボウル）
- 河合里奈（蜜手盃）

きらきらカラフルな金平糖、
ちょっと、と並べても
絵のように組み合わせても
愛らしいお干菓子や飾り菓子。

薄氷に見立てた涼やかな彩りに
蜜手の透かし器が呼応して、
「あつちの器はあまいぞ♪」っと、
つい口づさみたくなる楽しさ。

スイートな誘惑をちらばめて
お茶の時間がはじまります。

青白磁のせせらぎ清らかに

天球ドームの中は満天の星。
お菓子が描く物語を想像して

器遊びをするのも新鮮です。

窯垣のある街「洞」からの風

HORA クリエイティブサイト

せと末広商店街から東へ、ゆるやかな坂が続く「洞(ほら)地区」は、かつて多くの登り窯があつた歴史あるやきものの街。その風情を今に残す「窯垣の小径」をはじめ、多くの窯元や陶芸作家の陶房が集まるエリア。ここから今、新たな瀬戸の魅力を発信するクリエイティブな活動が注目を集めています。

洞地区的空き工場をフリースペースとして活用した「クリエイティブサイト HORA」では、コンサートや雑貨の販売、癒しのワークショップ等のイベントが開催されています。ものづくりのベースメントとして、新たな目線で「ひと・もの・出会い」を提供する場として二〇一四年から運営がスタートし、瀬戸からクリエイティブなネットワークの発信をめざしています。

このスペースを提供・運営しているのは、全国に可愛い食器やアロマ関連のグッズを製造・販売する「FARZEN」の代表・加藤善久さん。そして、キャンドルナイトや雑貨マーケットなどのイベント企画を担当しているのが、日本文化を感じさせる生活雑貨の企画・制作、海外販売を手がける「和香 Japan」コーディネーター和香さん。おふたりは大学時代の同級生だったそうです。

和香・私は名古屋市内で輸入雑貨店を経営していましたが、出身は瀬戸市です。加藤さんからこのスペースの一角をオフィスとして借りることになり、ゆかりのある瀬戸の活性につながるような使い方ができないだろうかと彼に相談したんです。

加藤・当社は、洞地区で創業しました。現

在使わなくなつた工場を受け継いだことで、あらためて洞地区に目を向けてみると、昔ながらのものづくりの環境に加え、最近は若手の陶芸家なども集まりつつありますね。

そこで、この場所から全国にクリエイティブな

collaboration-2

かんざしの飾りなどに使われる「つまみ細工」をモチーフにデザインした、セラミックの香立て。



キャンドルナイトイベントやコンサート、フリーマーケットなど、地域の人々、つくり手、つかい手の交流イベントも大盛況。

HORA
CREATIVE SITE HORA
Creative Site HORA
愛知県瀬戸市東洞町18
<http://www.facebook.com/hora.jp>

株式会社ファーゼン
愛知県瀬戸市水無瀬町3
<http://www.farzen.co.jp>

和香 Japan
愛知県瀬戸市東洞町9
<http://www.wakoujapan.jp>

雑貨などのマーケットやワークショップに加え、今後は地元作家の作品や活動も積極的に紹介していきたいですね。

和香・洞の素晴らしいところは、商品開発の際に「こんなものがつくりたい!」とデザイナーが相談すると、ファーゼンさんのようにものづくりのノウハウを持つ事業者や、瀬戸ならではの型・ノベルティなど専門の技術を有する職人が、多様なニーズに応えてくれるところですね。加藤・発想する側と実際に形にする側とのつなぎ役も、大切な役目です。立ち上げから一年を経て、「和香 Japan」×「FARZEN」とのコラボ商品も形になりつつあります。

和香・瀬戸から全国へ、海外へ、高感度なブランド力をどんどん発信していきたいです。この場に集うことで異業種のつくり手が出会い、新たな文化や交流の中からビジネスチャンスも生まれていけたらと思うと、ワクワクしますね!



FARZEN 株式会社ファーゼン
代表 加藤 善久さん
和香 Japan
コーディネーター 和香 (WAKA) さん



collaboration-1
洋の東西を問わず親しまれ続ける「香り」と「灯り」を、行灯をイメージしたアロマランプに。

発信ができたら!と思いまして、まずはイベントの企画から始めました。

第一弾として昨年七月に「クリエイティブサイト HORA 設立記念キャンドルナイト・ライブ」を開催。想像を超える200名もの観客が集まり、幻想的な灯りのもと倉庫が癒しの空間に。

和香・地域の人や企業も巻き込みながら、地域に根ざした活動をめざすと同時に、わざわざ足を運んででも来たくなるような企画を通して、「この瀬戸で、この場所でこんなことができるんだ!」という新鮮な感動を投げかけていきたいと思っています。

加藤・今年の四月、六月と「美と癒しのフェスタ & きらきらコンサート 2015」を開催。さらに十月十一日(日)は洞で開催される「窯垣の小径まつり」との連動も企画しています。女性をターゲットにしたアロマや



制作
木工房 玄翁屋 (げんのうや)
愛知県瀬戸市大坪町 119-1
TEL: 0561-21-6678
営業時間: 9:00~18:00 不定休
※ギャラリー併設



伝統的な意匠・技法を生かした、瀬戸市内の木工房『玄翁屋』の「せと組子」コースター。雪の結晶や麻の葉などバリエーションも豊富、ナチュラルな風合いがどんな器にもよくなじみます。

オトコのウツワ



「オトコ目線で選ぶ！」

岡上慎司さん
(『make my day』代表/小牧市在住)

違いのわかる
ウツワです。



器を愛でる 手の仕事

「室札」
のこころ

組子 コースター

ひとつひとつ、かたちあるものを伝え継ぐ、心づかい。
「お気に入りの器を大切に使いたい」という気持ちを、
和の工夫と手仕事の中につけてきました。



写真上: 瀬戸市内のイベントで出会った加藤輝雄さんのカップ&ソーサー。デニムのようにウォッシュ感のある風合いは実は織部、金彩のリベットもお気に入り。

写真右: 色を組み合わせて楽しむ六角形の器【セトヤキ HEX】。『make my day』http://www.makemyday.jp TEL: 052-684-6682

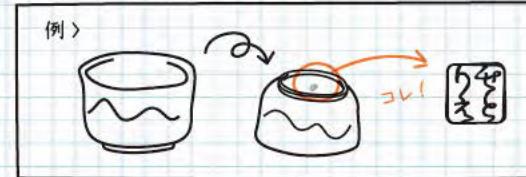
茶托やコースターは、お客様へのおもてなしはもちろん、冷たいグラスの表面に付いた水滴をとめ、テーブルに輪じみやキズが付くのを防ぐ役目もはたしています。

陶器の底は、ろくろから糸で切り離したり、焼成の際に底に釉薬をかけない場合など底面が粗くなるため、家具をキズつけないようにやすりをかける「ハマスリ」が必要になります。そうしたつくり手の仕事をやさしく受けとめるのが、無垢材でつくられた組子のコースター。組子は日本家屋の建具などに見られる伝統的な意匠で、釘を使わず細かな木片を組んで作り上げます。日本の伝統技法をモダンに活かしたコースターは、四季を問わず自然のやさしい風合いを伝えてくれます。

瀬戸焼ノート

つくり手の証となる「窯印」

陶磁器の茶碗や皿の裏を見てみると、底に印のついたものがあります。凹凸のある刻印や手彫り、転写など、窯元やメーカー、作家によって手法はさまざまですが、これらのマークは「窯印(かまじるし・かまいん)」もしくは「裏印(うらいん)」「銘(めい)」などと呼ばれています。



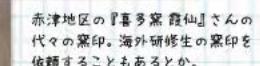
瀬戸でも数少ない手彫りによる
木口(こくち)印章を手がける
『光月堂本店』安藤博之さん。
陶器用には粘土に押しやす
いよう先端を細く彫るという、
繊細な職人の技が光る。

茶道では、お茶をいただいた後に茶碗の「景色」を愛でますが、外回りを拝見する時、刻印で作者などを確かめることもできます。かつては共同窯で焼かれていた時代に、作者や注文主を識別するために印され、茶道具にも用いられています。

瀬戸では印章を彫る職人の技が、こうした窯印にも活かされ続けてきました。それもやきものの地ならではの伝統のひとつといえます。



赤津地区的『喜多窯 霞仙』さんの
代々の窯印。海外研修生の窯印を
依頼することもあるとか。



光月堂本店
愛知県瀬戸市朝日町 48 TEL: 0561-82-4032

撮影協力: 喜多窯 霞仙

セトリ工字引き

セとのべるてい セトノベルティ

瀬戸の優れた技術と原料による精巧な細工の陶磁製置物・装飾品。戦後欧米に多く輸出され、造形や絵付けの精巧さは世界で高い評価を得た。

きぶしへんど 木節粘土

花崗岩が風化、堆積してできた良質の粘土。可塑性が高いという特徴を持つことから成形がしやすく、瀬戸の多種多様なやきものを生み出す源となっている。

ほたるで 螢手

陶磁器の素地を透かし彫りにし、半透明の釉薬をかけて焼成する技法。透かしの部分が釉薬で埋められ、光が透けると模様が浮かび上がるため、「螢」にたとえられる。

自分なりのスタイルやコンセプトで作品づくりに取り組む、個性派アーティスト。国内はもちろん、世界各国の陶芸・アートシーンへと飛び出し、活躍しています。そんなアクティブな活動の拠点となる瀬戸市内のアトリエを訪ねてみました。



感性を自由に遊ばせてデザインする

TERASHIMA YUJI

寺島 裕二 さん

遊子窯（ゆうしおう）



半円や直線を組み合わせたデザイン、土をあえて感じさせない金属的な焼締め等々、作風は実に多彩。陶器に留まらず、土で型を作り、陶芸用のガス窯でガラス作品も手がけるという。大胆な構成力とインパクト、日常使いの器やインテリアとして洗練された魅力を併せ持つ、独特の寺島ワールド。これまでフランス、台湾等に出品し、ポルトガルでも制作。「土が変われば作品の風合いも違ってくる。その土地で感じたまま作るのがおもしろい」と語る自由さで、独自のモダニズムを追求している。

TEL 愛知県瀬戸市水北町 1565 0561-48-3880

体験教室あり



国内外のアートシーンを刺激

MICHIKAWA SHOZO

道川 省三 さん

都忘樂土房（とぼらくどぼう）



火山、雪山、ひび割れた大地や断崖…その源である土の持つ性質、動きから生みだされる形、表現は、大胆で鮮烈。角柱をろくろでねじり成形するという独自の技法は、国際的なアートシーンで高く評価され、ワークショップへの招請も多い。「ベッソン・ギャラリー」（ロンドン）はじめ欧米・アジア等国内外での展覧会の他、近年は『国際陶芸フェスティバル in ささま』（静岡県）をプロデュース。'84年から瀬戸市湯之根町のやきもの長屋に拠点を置き、グローバルな視点と活動で若手作家たちを刺激し続ける。

http://www.shozo-michikawa.com

愛知県瀬戸市湯之根町 68



夢見る野原で出会ったガラスアート

KITTA YOKO

キッタ ヨーコ さん

スタジオバクザウルス



木立に囲まれたガラス工房に並ぶ、カラフルな花々・動物をあしらった作品は、どれもおおらかでピースフル。瀬戸市の『バルト工房』でガラスアートに出会い、作家として活動し始めてから'14年で20周年を迎えた。シンガポール・韓国のアーティスト・イン・レジデンスへの出品、国際交流プログラムにも参加しているキッタさんは、「海外では経歴より感性で見てくれる人が多くて楽しい」と語る。今後はアジアにとどまらず、アラブ圏での活動も期待される。

http://yoko326.com TEL 090-7045-0500

愛知県瀬戸市塩草町 66 E-mail info@bakusaurus.com

体験教室あり : http://bakusaurus.com



土を「画材」に描く陶芸作品

OZAWA SYOKO

小澤 章子 さん



金沢美術工芸大学で油彩画を専攻、瀬戸で陶芸を学び、'97年に独立。想像力をかきたてるオブジェと日常使いの器との間に境界線を引くことなく、「土で絵を描くよう」に表現された作風にファンも多い。創作に求めるのは、「素材(土)のプリミティブな美しさや魅力を引き出すこと」。'12年台湾・台北での個展を皮切りに、'14年は中国でも開催。これを機に中国茶器も手がける。中国茶のセレモニーに参加したことで、あらためて日本の文化を再認識したという。

愛知県瀬戸市南東町 55 (陶博園内)

abicasat@jupiter.ocn.ne.jp

セトリエさんと体験しよう！ 第七回 吹きガラス

安心です。
ポイントはしっかりと指導してくれるのです。
安心です。

やわらかガラスが落ちないように…
このスリルはワセになる！ byセトリエ



バルト工房

愛知県瀬戸市仲切町3 <http://www.baltkobo.com>

コップ(1個)…¥3,500～ 文鏡…¥2,300 一輪挿し…¥2,600

※加工・仕上げ、傷害保険料を含みます。

※コップや文鏡は翌日以降のお渡し。送料一律600円。

■定員…1時間に4～5人まで 団体向け・各種教室もあり

■問い合わせ…TEL/FAX: 0561-42-6604

E-mail: baltkobo@gmail.com

セトリエ information

セトリエ |

最新号～バックナンバーまで

保存版『セトリエ』はHPで！

瀬戸焼振興協会ホームページでは、『セトリエ』の各号全ページをPDFで閲覧・ダウンロードできます。プリントしてぜひ保存版に。

瀬戸焼振興協会 www.setoyakishinkokyokai.jp

瀬戸焼の最新情報をチェック！

セトリエ公式Facebookページ

画面に掲載しきれないトピックスや、各展覧会・イベント、「瀬戸焼」に関する最新情報を随時更新中。下記URLもしくは「セトリエ」でインターネット検索してご覧ください。皆さまからのコメントもお待ちしています。

セトリエ 公式FBページ www.facebook.com/setolier



まずは形と着色する色を決めますが、透明・不透明のガラスの使い分けをイメージして配置するのがポイント。



李末竜(リ・マリジョン)先生が手を添えて指導。



ガラスが熱いうちに、転がして形を整えます。

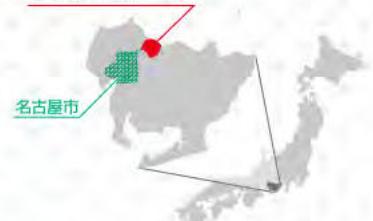
about

セトリエ

①瀬戸+アトリエ=瀬戸のまち全体がやきもの文化を生み出すアトリエという意味。

②瀬戸焼の魅力を紹介するフリーペーパー。つくり手とつかい手をゆるやかに結ぶ新しい世界を提案・発信。

愛知県瀬戸市



名古屋市



中：代表の尾方亮さんと陶神オリバーの手作りノベルティ。

左：ストーリーがわかる公式ホームページもあり。

Tシャツ・タオルなどオリジナルグッズも充実。



瀬戸がかわる・瀬戸をかえる

「陶神オリバー」

マスクには陶片、身を守るシールドやブロ

テクターには、瀬戸織部の皿や茶碗を装着！?

「せと陶祖まつり」や「せともの祭」など瀬

戸市内のイベント会場に颯爽と現れるヒ

ローは、その名も「陶神オリバー」。陶都瀬戸

を守るご当地ヒーローとして、二〇一四年三

月に道の駅瀬戸しなのでイベントデビュー。

瀬戸の伝統技術と現代の科学力を結集して誕生したオリバーは、陶祖・藤四郎のモノ作りの神通力を再現しているといい、子どもたちに大人気だ。

オリバーの生みの親は、市民グループ「ご当地ヒーローでまちおこしの会」。アクションヒーロー好きだった代表の尾方亮さんが、地元瀬戸市をPRするヒーローを作りたいと仲間を募り、二〇一三年に同会を結成。デザインインコンテストの募集をかけたのが始まり。応募は三〇〇通を超えたという。陶神オリバーが誕生した後、活動は瞬く間に広がりを見せた。子どもだけでなく大人をも虜にするオリバーは、地域の方から力強い後押しを受け、さまざまなイベントから自信を持っています】。

瀬戸市民の期待を胸に、オリバーは今日もまちを守る。

陶神オリバー公式ホームページ <http://www.tosin-oliver.jp>

-セトヤキ・ギフトで贈り愛-

瀬戸の多彩なやきものの中から、プロの目で選んだイチオシを紹介。



ちいさな草花を飾る
暮らしの中にさりげなくお花があると、
ホッとやすらぎ、気分も華やぎます。
小さめのものを何個か組み合わせたり、
窓辺の光を透かして彩りを楽しんだり。
「しのぎ」と呼ばれる手彫りの作品で、
くぼみにカラフルな釉薬がたまつた
陶芸家・河合里奈さんの一輪挿しは、
ころん、と愛らしい手のひらサイズ。
身邊にある草花を飾つても素敵です。



かわいりな
河合里奈さん

「一輪挿し」

名古屋造形芸術大学で日本画を学び、2005年『工房ゆずりは』(瀬戸市)に入社。一時に退社し、2012年京都府陶工技術高等専門学校卒業。再び『工房ゆずりは』のスタッフとして従事する傍ら、螢手やしのぎという技法を用いた作品で作陶活動を行っている。

河合さんの作品を貰えるお店…『gallery ゆづりは』

愛知県瀬戸市朝日町48-1 TEL: 0561-85-8100 <http://setomachi.com/moyu>